

各 位

会 社 名 セーラー広告株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 村上 義憲  
(コード2156 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 執行役員総務局長 西分 太郎  
(電話 087-825-1156)

### 法人税等調整額の計上および 親会社株主に帰属する当期純利益に関する前年実績との差異について

当社は、2022年3月期第4四半期連結会計期間（2022年1月1日～2022年3月31日）におきまして、法人税等調整額を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2022年3月期連結累計期間（2021年4月1日～2022年3月31日）における親会社株主に帰属する当期純利益について、前年実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 法人税等調整額の計上

当社は、現時点での将来の課税所得を見積り、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、当第4四半期連結会計期間（2022年1月1日～2022年3月31日）に法人税等調整額（損）38百万円を計上することといたしました。これにより、2022年3月期連結累計期間（2021年4月1日～2022年3月31日）における法人税等調整額（損）は3百万円となりました。

#### 2. 親会社株主に帰属する当期純利益に関する前年実績との差異

当連結会計年度（2022年3月期）におきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大に対応した各県の感染警戒レベルの引き上げから集客イベントを中心に広告活動の自粛・延期がありました。当社グループにおきまして、デジタルマーケティング分野の受注拡大に努めた結果、この分野の受注が増加し、また、昨年秋以降から年末にかけて新規感染者数の減少を背景に旅行・レジャー業などにおきまして広告出稿の回復があったこともあり、当社グループの2022年3月期通期の総売上高につきましては6,672百万円（前期比6.4%増）となりました。利益面につきましては、総売上高の増加のほか、内制化の推進による利益率の向上から、営業利益は59百万円（前期比192百万円の増加）、経常利益は75百万円（前期比159百万円の増加）となりました。また、一部の事業用資産に関する減損損失67百万円を特別損失に計上し、前述した法人税等調整額3百万円の計上から、親会社株主に帰属する当期純損失は25百万円（前期は79百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

#### (参考) 2022年3月期 連結経営成績

	総売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)
2021年3月期実績 (A)	6,271	△132	△83	△79
2022年3月期実績 (B)	6,672	59	75	△25
増減額 (B-A)	400	192	159	53
増減率 (%)	6.4	—	—	—

#### 3. 業績に与える影響

上記につきましては、本日公表の「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。詳細につきましては、こちらをご確認ください。

以上